

資金収支計算書（普通会計）

大阪市の1年間の資金（現金）の流れを性質別に3つに区分してまとめたものです。
どのような活動に資金（現金）を支出し、どのように賄っているかがわかります。

年度当初資金残高
(前年度からの繰越資金) **13億円**

※うち、翌年度繰越事業に必要な資金:8億円

経常的収支

経常的な行政活動から発生した収入及び支出を表したもの

支 出	1兆1,140億円
社会保障給付	4,984億円
人件費	2,339億円
その他(物件費等)	3,817億円
収 入	1兆3,401億円
地方税	6,270億円
国府補助金等	3,633億円
地方債発行額	910億円
その他(地方交付税、使用料等)	2,588億円

経常的収支 **2,261億円**
(②経常的収支 2,157億円)

投資・財務的収支

出資や貸付あるいは借入金の返済などの支出と、それらの財源としての貸付金の回収等の収入を表したもの

支 出	5,586億円
(貸付金、地方債償還額、基金積立額など)	
収 入	3,549億円
(貸付金回収、基金取崩額、地方債発行額など)	

投資・財務的収支 **△ 2,037億円**
(②投資・財務的収支 △ 1,886億円)

公共資産整備収支

大阪市や他団体の公共資産の整備にかかる支出と、それらの財源としての補助金や借入金等の収入を表したもの

支 出	818億円
(公共事業費など)	
収 入	596億円
(地方債発行額、国府補助金など)	

公共資産整備収支 **△ 222億円**
(②公共資産整備収支 △ 272億円)

年度末資金残高
(翌年度への繰越資金) **15億円**

※うち、翌年度繰越事業に必要な資金:11億円

【ポイント】

経常的収支で生じた資金（現金）を公共資産整備や将来の借入金の返済にそなえ、減債基金へ積み立てたことなどにより、1年間の資金収支は2億円のプラスになりました。また市債の満期一括償還に備え、減債基金へ確実に積立を行っています。

年度末資金残高の15億円から翌年度に繰越した事業に必要な資金を除くと4億円（実質収支）となっており、収支均衡が図られています。